

世界史

注意

1. 問題は全部で9ページである。
2. 解答用紙に氏名・受験番号を忘れずに記入すること。(ただし、マーク・シートにはあらかじめ受験番号がプリントされている。)
3. 解答はすべて解答用紙に記入すること。
4. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
5. 解答用紙は必ず提出のこと。この問題冊子は提出する必要はない。

マーク・シート記入上の注意

1. 解答用紙(その1)はマーク・シートになっている。HBの黒鉛筆またはシャープペンシルを用いて記入すること。
2. 解答用紙にあらかじめプリントされた受験番号を確認すること。
3. 解答する記号・番号の○を塗りつぶしなさい。○で囲んだり×をつけたりしてはいけない。

解答記入例(解答が1のとき)

1	<input checked="" type="radio"/>	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
---	----------------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---

4. 一度記入したマークを消す場合は、消しゴムでよく消すこと。×をつけても消したことになる。
5. 解答用紙をよごしたり、折り曲げたりしないこと。

〔 I 〕 次の文章を読んで下記の問題に答えなさい。(解答用紙その 1 を使用すること)

前 722 年にヘブライ人の(a)王国を征服した(b)は、紀元前 7 世紀前半にかけて全盛期を築き、エジプトを含む全オリエントを初めて統一した。遠征よりもむしろ文化事業に力を注ぎ大図書館を建設した(ア)が統治したのも前 7 世紀である。しかしこの世界帝国も前 7 世紀後半に入ると服属諸民族の反抗を受けて衰え始める。前 625 年に独立を果たしたセム系カルデア人の国(c)は、前 612 年に、イラン人による最初の国家である(d)と共闘してアッシリアを滅ぼした。世界最古の鑄造貨幣の使用で知られる(e)も、アッシリア滅亡後の西アジアにおける 4 王国の並存・対立の一翼を担った。

(b)に続いて広範な版図を支配する大帝國を打ち立てたのは、(I)のペルシアだった。その建国者である(イ)は支配国だった(d)を打破したのち(e)も攻略し、前 539 年には(c)も倒して新たな世界帝國を築いた。(イ)の統治政策は寛容で、捕囚されていた諸民族にそれぞれの故郷への帰還を許し、信教の自由を認めた。(c)に滅ぼされた(f)王国のヘブライ人たちもこの際に捕囚から解放された民族の一つだった。(イ)の死後、その子である次代の王(ウ)は、前 525 年にエジプトを征服し、2 度目のオリエント統一を実現した。次に即位した(エ)は帝國を 20 余の州に分割し、各州に知事(II)を任命して中央集権体制を確立した。その後ペルシアは(g)に侵攻して前 500 年以後数十年にわたる戦争を繰り広げるが、これに敗北したのち次第に衰退に向かった。最後の王は(h)出身のアレクサンドロス大王の軍勢との(III)の戦いに敗れたのち家臣に暗殺され、(IV)年、(I)⁽⁴⁾ペルシアは滅亡した。

選択肢群 A

- | | |
|----------|---------|
| ① メディア | ② パルティア |
| ③ ユダ | ④ リディア |
| ⑤ ギリシア | ⑥ バクトリア |
| ⑦ 新バビロニア | ⑧ アッシリア |
| ⑨ マケドニア | ⑩ イスラエル |

選択肢群 B

- | | |
|--------------|---------------|
| ① サルゴン 1 世 | ② ダレイオス 1 世 |
| ③ カンビュセス 2 世 | ④ ネブカドネザル 2 世 |
| ⑤ ミトラダテス 1 世 | ⑥ アッシユル・バニパル |
| ⑦ シャープール 1 世 | ⑧ ハンムラビ |
| ⑨ キュロス 2 世 | ⑩ ホスロー 1 世 |

問 1 空欄(a)に該当する国名を上記の選択肢群 A から一つ選んで記号をマークしなさい。

問 2 空欄(b)に該当する国名を上記の選択肢群 A から一つ選んで記号をマークしなさい。

問 3 空欄(c)に該当する国名を上記の選択肢群 A から一つ選んで記号をマークしなさい。

問 4 空欄(d)に該当する国名を上記の選択肢群 A から一つ選んで記号をマークしなさい。

問 5 空欄(e)に該当する国名を上記の選択肢群 A から一つ選んで記号をマークしなさい。

問 6 空欄(f)に該当する国名を上記の選択肢群 A から一つ選んで記号をマークしなさい。

問 7 空欄(g)に該当する国名を上記の選択肢群 A から一つ選んで記号をマークしなさい。

問 8 空欄(h)に該当する国名を上記の選択肢群 A から一つ選んで記号をマークしなさい。

問 9 空欄(ア)に該当する人名を上記の選択肢群 B から一つ選んで記号をマークしなさい。

問10 空欄(イ)に該当する人名を上記の選択肢群 B から一つ選んで記号をマークしなさい。

問11 空欄(ウ)に該当する人名を上記の選択肢群 B から一つ選んで記号をマークしなさい。

問12 空欄(エ)に該当する人名を上記の選択肢群 B から一つ選んで記号をマークしなさい。

問13 空欄(I)に該当する王朝名を下記の選択肢から一つ選んで記号をマークしなさい。

① サファヴィー朝

② ササン朝

③ クシャーナ朝

④ アケメネス朝

問14 空欄(Ⅱ)に該当する語句を下記の選択肢から一つ選んで記号をマーク

しなさい。 14

- ① アミール ② テ マ ③ デーモス ④ サトラップ

問15 空欄(Ⅲ)に該当する地名を下記の選択肢から一つ選んで記号をマーク

しなさい。 15

- ① アルベラ ② ニハーヴァンド
③ イツソス ④ カイロネイア

問16 空欄(Ⅳ)に該当する年号を、下記の選択肢から一つ選んで記号をマーク

しなさい。 16

- ① 紀元前 449 年 ② 紀元前 404 年
③ 紀元前 330 年 ④ 紀元前 149 年

問17 下線部(1)の大図書館の所在地でこの帝国のこの時代の首都でもあった都市

を、下記の選択肢から一つ選んで記号をマークしなさい。 17

- ① アッシュル ② ベルセポリス
③ ニネヴェ ④ クテシフォン

問18 下線部(2)の時代のエジプトは古代エジプト史の区分のうちどれに該当する

か。下記の選択肢から一つ選んで記号をマークしなさい。 18

- ① 末期王朝時代 ② 新王国時代
③ プトレマイオス朝時代 ④ 中王国時代

問19 下線部(3)の戦争の時代に生き、自らの大旅行の体験を踏まえてこの戦争を

主題にした歴史書を著したのは誰か。下記の選択肢から一つ選んで記号をマ

ークしなさい。 19

- ① ヘシオドス ② ヘロドトス
③ タキトゥス ④ トウキディデス

問20 下線部(4)に関連して。アレクサンドロス大王の死の50年後、ペルシアの大部分を支配していた王朝に該当するものを、下記の選択肢から一つ選んで記号をマークしなさい。 20

- | | |
|------------|------------|
| ① セレウコス朝 | ② アルケサス朝 |
| ③ プトレマイオス朝 | ④ アンティゴノス朝 |

〔Ⅱ〕 以下の文章を読んで問題に答えなさい。(解答用紙その1を使用すること)

- (1) 清という新たな国号を定めた(イ)は、内モンゴルの諸部族を従えて勢力を拡大し、この年、朝鮮も服属させた。
- (2) 農民反乱の指導者であった(ロ)が、北京を攻略すると、崇禎帝(毅宗)は自殺し、この年、王朝は滅亡した。
- (3) 永楽帝は、(ハ)に命じて、東南アジアからインド洋に艦隊を派遣し、勢力を拡大した。最初の遠征は、1405年に行われたとされる。
- (4) 紅巾の乱の指導者であった(ニ)は、金陵に都をおいて、明を建国した。
- (5) (ホ)などの武将は、雲南などの藩王に封じられた。しかし、康熙帝がその勢力を排除しようとするると、三藩の乱が起こった。

問 1～5 (1)から(5)の文章を、時代の古い順にならびかえ、その番号をマークしなさい。

21 → 22 → 23 → 24 → 25

問 6～10 (イ)から(ホ)に入る人名としてもっとも適切なものを下から選び、その番号をマークしなさい。

(イ) 26 (ロ) 27 (ハ) 28 (ニ) 29 (ホ) 30

- | | |
|-------|-------------|
| ① 鄭成功 | ② 李自成 |
| ③ 張居正 | ④ ヌルハチ(太祖) |
| ⑤ 洪秀全 | ⑥ 呉三桂 |
| ⑦ 李成桂 | ⑧ ホンタイジ(太宗) |
| ⑨ 鄭和 | ⑩ 朱元璋 |

〔Ⅲ〕 以下の文章を読んで、問題に答えなさい。(解答用紙その1を使用すること)

明清時代、中国の思想や哲学は、さまざまな展開をみせた。16世紀のはじめ、(イ)は、法則は人間本来の心の動きのなかにあり、無学な人でも聖人になれると説き、ありのままの善い心をひきだすことで認識と実践を一体化できるとする「知行合一」を説いた。こうした考え方からは、朱子学の形式主義を批判した(ロ)も登場し、人欲を肯定し、童心の純真さにかえることを主張した。

明から清への変化は、社会的な混乱とともに、思想や哲学に大きな影響を及ぼした。『明夷待訪録』を著した(ハ)などは、古典を実証的に研究することで現実に役立つ知識をみいだそうとする動きを強めた。そうした動きは、清朝中期には考証学として、『大清一統志』の編さんに関与した(ニ)などによって大きく発展した。

西欧や日本の思想や制度も、伝統的な思想や哲学を基礎として解釈されることがあった。19世紀の末には、公羊学を学んだ(ホ)が、日本をモデルとして、立憲君主制度の導入や議会開設などの改革の推進を提唱した。

問 1～5 (イ)から(ホ)に入る人名としてもっとも適切なものを選び、その番号をマークしなさい。

- | | | | | |
|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| (イ) <input type="checkbox"/> 31 | (ロ) <input type="checkbox"/> 32 | (ハ) <input type="checkbox"/> 33 | (ニ) <input type="checkbox"/> 34 | (ホ) <input type="checkbox"/> 35 |
| ① 黄宗羲 | | | ② 李時珍 | |
| ③ 鄭玄 | | | ④ 徐光啓 | |
| ⑤ 李卓吾(李贄) | | | ⑥ 南懷仁 | |
| ⑦ 康有為 | | | ⑧ 曾国藩 | |
| ⑨ 王陽明(王守仁) | | | ⑩ 錢大昕 | |

〔Ⅳ〕 以下(A)～(C)は、ロシアに関する文章である。文章を読んで、問題に答えなさい。(解答用紙その2を使用すること)

(A) ロシアの起源は、9世紀にリューリクを首長とするノルマン人の一派が建てたノヴゴロド国である。その後、ノヴゴロド公は南下して (1) 公国を建国した。ノルマン人はまもなく先住民に同化してスラヴ化した。13世紀にモンゴル人が南ロシアに (2) 国を建て、ロシアの諸侯はその支配下にはいなかった。15世紀になると、(3) 大公国が勢力をのばし、その大公イヴァン3世の時代にモンゴル支配から脱した。彼は諸侯を支配しロシアをほぼ統一して強大な権力を持ち、ビザンツ帝国最後の皇帝の姪と結婚し (4) の称号を用い始めた。

(B) ロシアの西欧化は、(5) が17世紀後半にステンカ＝ラージンの乱を鎮圧した後、視察した西欧諸国を模範に改革を進めることで始まった。彼の在位中に、首都は (6) に移り、バルト海へ勢力を拡大し、北方戦争でポーランド・デンマークと結んで (7) を破った。また東ではシベリア経営を進め、1689年に中国の清朝とネルチンスク条約を締結して境界を定め通商を開いた。ユーラシア大陸東部への進出はそれ以後も続き、18世紀末には、女帝 (8) がラクスマンを箱館に派遣して日本との通商を求めた。不凍港を欲するロシアは南方にも進出をはかり、オスマン帝国との戦いをくりかえした。18世紀後半にはロシアが領土を黒海にまで拡大するが、1853年から56年の (9) 戦争でイギリス・フランスなどがオスマン帝国側についたこともあり敗れた。この敗北後、アレクサンドル2世は1861年に (10) 解放令を出すなど、ロシアに長く続いた制度を改革しようとしたが、短期間で失敗に終わり専制政治が再び強化されることとなった。産業が十分に発達していなかったロシアでは、改革の担い手は主に都市の知識階級で、彼らの一部は「人民の中へ」^(a)というスローガンをかかげて農村に入り込んで農民を啓蒙することが重要だと考えていた。

- (C) (11) 年に開戦した日露戦争の戦況がロシアにとって不利となってきた中で起こった「血の日曜日事件」が発端となり、各地で農民蜂起、労働者のストライキ、暴動などが勃発した。1914年に始まる第一次世界大戦で、ロシアはタンネンベルクの戦いでドイツに敗れ領内への進撃をゆるすが、国土の広さや冬の厳しい寒さのおかげもあり、戦況は膠着した。戦争が長引く中、1916年夏には動員を拒む中央アジアで反乱がおき、翌年3月に首都で起こった食料危機を原因とする大規模なデモやストライキが革命に発展し、300年あまりに及ぶ (12) 王朝の支配は終焉を迎えた。その後、亡命先から帰国した (13) が11月に臨時政府を倒して社会主義政権を樹立し、1918年に共産党一党支配体制となり、1922年にソビエト社会主義共和国連邦が結成された。

問 1 空欄(1)~(13)にもっとも適切な語句または数字を入れなさい。

問 2 下線部(a)に述べられている、「人民の中へ」というスローガンをかかげて農村へ入った人々をなんというか、カタカナで記しなさい。

問 3 下線部(b)臨時政府について、この時の臨時政府の首相は誰か。その姓を答えなさい。

